

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社エイチ・アイ・エス（証券コード:9603）

【クレジット・モニター継続】【変更】

長期発行体格付 #BBB+/ネガティブ → #BBB-/ネガティブ
債券格付 #BBB+/ネガティブ → #BBB-/ネガティブ

■格付事由

- 旅行会社大手。海外旅行を中心に強固な顧客基盤を有する。旅行事業セグメントとハウステンボスグループセグメントが収益の柱である。近年、ホテル業を強化してきた。
- 足元の業績はコロナ禍の影響を強く受けている。JCRでは6月22日付で当社の格付を「ネガティブ」方向でクレジット・モニターに指定している。国内観光需要は回復しつつあるが、欧州の一部で感染再拡大がみられるなど海外旅行の需要が本格回復する兆しは依然として見えない。300億円強の最終赤字の計上により、先般の資本政策を含めても20/10期末の自己資本は大きく毀損する見込みである。業績の方向性についての不透明感が強まっている中で、悪化した財務内容はJCRが従来想定した以上に改善が遅れる可能性が高まったと考えられる。以上から2ノッチ格下げした上で、引き続き見直し方向「ネガティブ」としてクレジット・モニターを継続する。今後もコロナ禍の影響と各国の規制の動向、当社の業績推移と財務内容を確認し、格付に反映させていく。
- 20/10期第3四半期決算発表時に20/10期業績見通しの修正値が公表された。これによれば20/10期売上高4,240億円（前期比47.6%減）、営業損益は367億円の赤字（前期は175億円の黒字）、経常損益は360億円の赤字（同170億円の黒字）、最終損益は318億円（同122億円の黒字）である。海外旅行を中心とする旅行事業の大幅な業績の悪化が赤字の主因となっている。
- 20/10期第3四半期末の自己資本は735億円と19/10期末から232億円減少した。当社は同第4四半期において第三者割当増資（80億円）および新株予約権の発行（行使価額145億円）を発表しているが、想定される自己資本の毀損規模を考慮すると、すでに払い込みが終了している第三者割当増資による財務改善効果は限定的と考えられる。

（担当）上村 暁生・加藤 直樹

■格付対象

発行体：株式会社エイチ・アイ・エス

【クレジット・モニター継続】【変更】

対象	格付
長期発行体格付	#BBB-/ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年10月23日	2021年10月22日	0.645%	#BBB-/ネガティブ
第3回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	150億円	2017年2月20日	2024年2月20日	0.440%	#BBB-/ネガティブ
第4回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50億円	2017年2月20日	2027年2月19日	0.580%	#BBB-/ネガティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年10月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社エイチ・アイ・エス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル